

## 令和4年度 第1回タウンミーティング

### 寺井町会とのタウンミーティング

日 時 令和4年5月21日（土）17時00分～18時00分

場 所 まつさき旅館

参加人数 18人

#### 1) 寺井町 町会長 挨拶

- ・市長から能美市の方針やお考えをお聞きし、それを踏まえながら、町会の役目というものをしっかりと果していきたいと思っている。

#### 2) 市長 挨拶

- ・今日は、能美市の予算のことを主体に、市がどんな方針で、どんなことをやろうとしているか知っていただきたい。

#### 3) 市長 市政報告

##### ◎はじめに

- ・今年は3年ぶりに九谷茶碗まつりが開催され、約7万人のお客様がお越しになられ、いしかわ動物園、手取フィッシュランドにも大勢のお客様がお越しになられた。
- ・能美市では「したいこと能美市だったら叶うかも」というキャッチコピーを作り、いろいろなことに取り組んでいる。

##### ◎能美市を取り巻く情勢と課題

- ・人口減少、少子高齢化、社会インフラの老朽化、災害、事件、事故、そして最近では新型コロナウイルス感染症など様々な課題がある。
- ・人口減少、少子高齢化になると社会福祉費の増大、地域コミュニティの希薄化、空き家空き地の増加などの問題が出てくる。
- ・社会インフラについては、公共施設、特に学校の建て替えが大きな課題となっているほか、設備や器具等の老朽化の問題もある。
- ・能美市は自然災害は少ないが、最近熊の出没が問題になっているため、市からも助成を行うなどいろいろな対策をしている。
- ・これらを解決していくためには、ヒト・モノ・カネが必要であり、これをどうやって生み出していくかということに取り組んでいる。自治体の勢いを示す指標として、一番わかりやすいのが、人口を増やすことだと考えていて、能美市ではすべての施策、事業が移住・定住の促進につながるように取り組んでいる。

### ◎新型コロナウイルス感染症の対策

- ・昨年と今年で感染する年代が高齢者から10代～30代に変わってきている。ワクチンの接種率は若年層が低く、そういった状況が今の感染状況を生んでいると予想している。
- ・今後のスケジュールとして、現在4回目接種の準備を進めている。希望される方は早めに打っていただければと思う。

### ◎戦略的企業誘致の推進

- ・約23ヘクタール造成した福島グランパークは約75%が埋まっており、空いているところも現在交渉中である。福島グランパーク以外にも産業団地があり、既存企業の工場の増床や新規企業の建設などにより今後見込まれる雇用人数が1000人となるが、現状宅地が不足していること、地元企業からの人材流出が課題である。

### ◎施策と事業の紹介

- ・施策、事業は7本柱からなっている

#### 【子育て・住環境の充実】

##### (のみバス)

のみバスGO!というアプリで、ダイヤやルートだけでなく、バスの到着時刻や混雑状況がわかるようになっている。また、車両についたカメラを通して、どこから何人乗って、どこで何人降りたかを集計し、公共交通をより利便性が高いものにしていこうとしている。

##### (JR能美根上駅)

感染症の影響により利用率が落ちてきている。将来的には駅の無人化、北陸新幹線敦賀開業に伴う経営主体の変更の話もあるため、電車の利用者だけでなく、別の形での利用者をどう増やしていくかにも取り組んでいこうとしている。

##### (里山イノベーション)

地域の方が主体となって移住定住の促進のため取り組まれている。

##### (さらい)

飲食と健康を増進する施設に変わり、オープンする。

##### (Web健康手帳)

生まれてから高校に行くまでに、いろいろな予防接種をしたり、病気をしたりしている。その情報をアナログからデータにし、一気通貫で管理することを行っている。

##### (保育園のICT化)

園児の登園退園を把握したり、お便り帳を手書きからデジタル化し記録が残るようにしている。

##### (電子図書館)

感染症対策の一つでもあり、スマホなどで読みたい本のデータを入手できるようにしていく。

(健康ロード)

能美電開通 100 年、廃線 45 年、能美市誕生 20 年を迎える 2025 年という節目の年に向け、今整備を始めている。安全安心に利用できるよう、舗装を改修したり、街灯をつけたり、一体感を感じられるようにカラーリングをしていく。また、駅があったところに案内看板やベンチをつけるほか、看板に QR コードを付けて周辺施設の案内をする。

**【産業振興・企業誘致・人材確保】**

(福島グランパーク)

約 23 ヘクタールの工業用地であり、約 75%が完売、残りも交渉中である。おかげさまで能美市に進出したいという要望や能美市にある企業で増床したいという要望をいただいている。

(いしかわサイエンスパーク)

先端大学があることを活かして開発をしていこうとしていたが、思うように進んでいないので、しっかりやっていきたい。

(宅地造成)

能美市では宅地がないのが課題となっている。今和光台の一部で宅地として売り出していなかったところを売り出そうとしている。また、金沢大学が持っている 10 ヘクタールの土地は東西連絡道路などが産業道路の結節点となる場所であり、そこを能美市で買い、宅地の造成をしようとしている。

(能美の取り柄)

能美市内の企業を PR しているサイトであり、その中で会社のことや働きがいなどを PR し人材確保に繋げていこうという取り組みをしている。

(移住定住促進協議会)

有識者や学識経験者の意見を聞き、どうやったら移住定住を促進できるかを考えたり、ワンストップで仕事も住まいも見つけてもらえる窓口を作ったりする。

(サテライトオフィス)

感染症の拡大に伴ってテレワークや地方に戻って仕事をする方が増えてきているため、その受け皿としてサテライトオフィスを設け、実際に使っていただき、よければ能美市に移住してもらおうということを進めている。

(通勤、就活支援)

市内のアパートに住んで、市内の企業に勤めたい人の家賃の一部を市が補助するという制度や車を購入したいという場合に、企業が車の購入補助に対する制度を実施する際、その一部を補助する制度を作った。また、市内の企業が大都市圏で自社の PR をするためにイベントに参加する場合の費用の一部を支援することもしている。

### (農村 DX)

自然相手の仕事であり、原価が下がり原材料費が上がっている現状に農家の人たちは本当にご苦労されており、市でもしっかりと農業をサポートしていきたいということで、農村 DX ということをしている。農家の人を応援する、DX がどんなことかを知ってもらうためにビデオを制作し、成人式で流すことで成人者に農業の面白さや近代的な側面を伝えていく。

### 【交流人口の拡大】

観光だけでなく、出張や用事で能美市に来る人も交流人口であり、その人たちが能美市を見て、立派な企業があることや動物園があることなどに気づき、そこで働きたい、住んでみたいと思うことで移住定住の促進につなげていく。またその糸口になることとして様々な取り組みを進めている。

### (加賀立国 1200 年)

来年に向け機運を高めていこうと進めている。

### (団体旅行促進・産業振興)

団体旅行の促進としては、旅行会社のプランナーに能美市に来てもらい、能美市のことをよく知ってもらうとともに能美市に来た時の費用の一部を市としてサポートすることをしている。

産業観光でもいろいろな取り組みをしており、例えば小松マテーレさんでは、感染症の影響により BtoB から BtoC に移行してきており、マスクなどのいろいろな製品を直接ユーザー向けに作られている。また、どんな会社かを見てもらえるように、作業工程の見学施設や体験施設を作っており、市でもサポートしていこうとしている。

### (観光デジタルスタンプラリー)

市内をめぐるっていただくとスタンプが押され、抽選で賞品がもらえるということをしたり、ゴールデンウィークには「春もパン祭り」をさらいで行ったところ、驚くほど多くの人でにぎわった。

### (パークゴルフ場)

道林町にあるもので、大きな大会も開催されている良いパークゴルフ場であるが、クラブハウスが痛んでいるので直していく。

### (九谷陶芸村)

体験館をリニューアルしていく。高級感を出して富裕層の人たちにも来てもらうようにしていきたい。また、アニメに登場するキャラクターを白生地にして絵をつけてもらうが、「星のカービィ」を白生地にしたところ、ゴールデンウィークにはすぐに売り切れてしまうほど大人気だった。ウルトラマンの白生地もあり、ウルトラマンの新しい映画が始まっていることからまた人気が出るのではと思っている。

(ギャラクシーイノベーション)

学習センター2階に隕石に関する部屋があるが、今後佐々木守さんの思い出の品も飾るようにしてギャラクシーの名所にしようという企画を考えている。

(フラワーハウス)

辰口丘陵公園や動物園に近いことから、道の駅機能を持ったものに生まれ変えようと計画している。

(トレイル・ランニングフィールド)

仏大寺町にある遣水観音山が今人気があり、そこを整備していく。また、和気にある池の奥に民間業者が新しくアスレチック施設を作る予定であり、あのエリア全体をアウトドアの聖地にして、動物園とあわせて子供たちを呼び込みたいと思っている。

(観光ビデオ)

JALさんが感染症の影響から搭乗率の低下に伴い、自治体と何か取り組みができないかとの申し出を受けて、現職のキャビンアテンダントさんに能美市に来てもらいPRしてもらっている。

### 【教育力の向上《学校教育》】

教育の向上には学校教育と文化スポーツの振興の2つがある。

(給食センター)

寺井地区・根上地区の学校の給食を給食センターで作るようになるため、粟生町のJAグリーン近くに建設予定をしている。

(GIGA スクール、電子黒板)

市内の小中学校では全員がタブレットを持って授業をしており、電子黒板も導入している。子どもたちにとっても理解度が高まっているということを聞いている。今後感染症が拡大し、休校になる場合でもタブレットを家に持ち帰れば授業が受けられるようになっている。

(特別支援教育支援員)

学校の先生はとても忙しくしていることから特別支援員という方を増員している。また、スクールサポートスタッフとして、テストの丸付けなど直接生徒と接しない業務をサポートする人も増やしていこうとしている。

(レガシープロジェクト)

東京オリンピックで使われた表彰台を全国の自治体に配る事業で、能美市ではフルセットでいただいた。学習センターにおいてあるが、小中学校を巡回させ、子どもたちにこれを目指して頑張ってもらいたいと伝えたり、希望される団体には貸し出したりもできる。

(思い出づくり)

この2年間、修学旅行や運動会などが規模縮小や中止などになっており、子どもたちに何か思い出を作ってもらいたいということで、去年はタイムカプセルと一緒に埋めたり、昨年・今年と卒業アルバムで撮影した写真を入れたマグカップを配ったりした。

(ふるさと愛の醸成)

子どもたちに能美市は住みやすいところだよ、能美市のために一緒に頑張ろう、ということ伝えるためビデオを制作した。画像だけではなかなか伝わりにくいことや先輩たちからメッセージを伝えていこうと一生懸命いろいろなことをやっている。

#### 【教育力の向上《文化・スポーツ振興》】

(いしかわ百万石文化祭)

天皇皇后両陛下が来られる一大イベントが来年開催される。今年はプレ大会としていろいろなことをやっていこうとしている。

(現代美術展)

九谷焼美術館で開催する。九谷焼美術館は現在九谷焼のファンしか行ってもらえない場所になっているため、すそ野を広げるため、絵画や彫刻、書、写真などのファンも九谷焼美術館に行ってもらえるようにこの美術館で開催をする。

(史跡・名勝)

傷んできていたり、利用しづらかったりするところを整備している。

(ふるさと歴史の広場)

古くなってきているため、池をきれいにしたり、遊具やキャンプ場を整備し、使いやすくしていく。

(体育館冷暖房整備)

寺井体育館に冷暖房がついた。運動する方のためだけでなく、避難所として使用するときのためにも整備した。

#### 【安全安心のまちづくり《防減災・治安・交通》】

(危機管理 DX)

防災行政無線の多重化として、放送内容をメールで流したり、固定電話で確認できるようにしたりする。

(地域防災サポート)

地域の避難計画を作ることが定められているが、町会だけでは難しいということで、市職員がサポートしていく。

(自衛消防団)

大規模火災などの場合は、多くの人手が必要ということで、近隣町会で協力できるように協定を締結した。

(やさしい道路空間)

ゾーン 30 のことで、寺井や福岡小学校エリアを指定地域とした。今後は宮竹小学校、辰口中央小学校エリアも指定していく。

(装備・資機材)

ドローンや救急車、水防車を購入したり、いただいたりした。

(鳥獣被害)

狩猟免許を持っている人が減っていることから、免許を取りやすいように費用の一部を補助する制度を設けている。

(協働型施設管理)

今までは道路などの陥没箇所があった場合、電話で連絡してもらうことが多かったが、写真に撮って送ってもらうように変える。そうすることで、一目でわかるようになる。

## 【安全安心のまちづくり《共生社会》】

(医療介護 DX)

一人暮らしの人が多くなっているが、救急搬送されたときに、服用している薬や過去にかかった病気などを救急隊に伝えられないということで、そういった情報をデータで管理していく。

(健康福祉センター「サンテ」)

改修し、健康増進施設と子育て世代の相談窓口を分けてきれいに整備していく。

(生活支援ハウス)

利用の幅を広げいろいろな人が利用できるようにしていく。

(インクルーシブプレイグラウンドのみ)

能美市は共生社会を目指しており、健常者も障がいをお持ちの方も、高齢者もお子さんも外国人もすべての皆さんが遊べる公園ということでインクルーシブパークを作った。

(合葬墓)

市民からの要望により作ったもので、市外、県外、国外に住んでいる人が行きやすいようにインターチェンジ、空港、新幹線駅のそばとして山口町を選んだ。

## 【シティプロモーション】

(市長と能ん美り (のんびり) カフェトーク)

今までタウンミーティングをしていたが、感染症の影響により大人数が集まるのが難しいということで、少人数でいろいろな話ができるカフェトークを始めている。

## 【行財政改革】

(官製談合事件)

皆様方に大変不愉快な思いとご迷惑をおかけした。二度と起きないよう取り組んでいる。

(機構改革)

今年度の人事異動、組織編成改革の一つに広報広聴機能の強化として、直轄部門となる市長室を設けた。いろいろな形で市のことを皆さんにお知らせする、皆さんの声をお聞きする機能を強化していく。

## 【行財政改革<<SDGs>>】

能美市はSDGs 未来都市に選定されており、いろいろなことをやっている。

## 【その他】

### (寺井町民大運動会)

本当に楽しそうだった。北野町会長もおっしゃっていたが、子どもたちが子どもたちを、そして親を呼んでくれたんじゃないかと思う。この寺井町民大運動会が一つのモデルケースになって、ほかの町会町内会に広がっていくんじゃないかと思う。

### (寺井町の人口)

残念ながら人口は減っている。宅地の不足という背景はあると思うが、寺井町は住んでいる人もいい人ばかりで、楽しいこともたくさんある。この寺井町の人口をどうやって増やしていくか、また社会増だけでなく、長生きしてもらうことや、1人でも多くお子さんが欲しいと思ってもらえるようサポートしていくことも大事だと思う。

### (最後に)

ウィズコロナ、アフターコロナの時代に市民の皆さんのお力添えをいただきながら、ますます市が発展し、寺井町に住んでよかったと思ってもらえるようにしていきたいと思っているので、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。ご清聴いただきありがとうございます。ございました。

## 4) 質疑応答

### (参加者)

旅行先で出身地のアンケートに答えた際、相手の方に能美市がどこかわかってもらえなかった。市長だったらどう答えるか。

### (市長)

まず指で県の形を示し、石川県ということを伝える必要がある。そして、県都が金沢でその南側にあるのが能美市、と言うと地理的なことはわかってもらえると思う。有名なものとしては九谷焼などがあるが知名度としてはなかなか難しいところである。住みよさランキングの中に認知度というポイントがあるが、能美市は他市町に比べ低いので、その認知度をどう高めていくかが課題であり、そのためにシティプロモーションを一生懸命している。シティプロモーションの一つとして応援団を増やそうということがある。観光大使や特使の人たちにPRをしてもらう、関東、関西、東海の能美市の会の人たちにPRしてもらうなどの口コミを広げていくことと、ビデオを作り、ホームページに張り付けるなどをして周知し、知名度を上げていくことなどに取り組んでいる。

## 5) 寺井町 事務局 挨拶

井出市長、ありがとうございました。